

SUMIRE YOSHIHARA PERCUSSION RECITAL 2025
~SPECIAL FEATURE OF MAKI ISHII~

吉原すみれ

パーカッションリサイタル 2025

石井眞木特集

出演 吉原すみれ (パーカッション)

共演 小池ちとせ (ピアノ)

野尻小矢佳・山口芽依・敦賀朝香・山本優香 (パーカッション)

【Program】(演奏順未定)

マリンバ独奏とオーケストラのための《協奏曲M-2000》Op. 117 (2000)
(ピアノ・リダクション版/初演) (横地ちひろ/編曲)

CONCERTO M-2000 for Marimba and Orchestra, Op.117

(Piano Reduction/Premiere) (Arranged by Chihiro Yokochi) 共演: 小池ちとせ (ピアノ)

打楽器ソロのための「サーティーン・ドラムス」Op. 66 (1985)

Thirteen Drums for Percussion solo Op.66

For Lily (サーティーンドラムス・パラフレーズ) Op. 81 (1988)

For Lily (Thirteen Drums Paraphrase) Op.81 共演: 野尻小矢佳・山口芽依・敦賀朝香・山本優香 (パーカッション)

打楽器とオーケストラのための《アフロ・コンチェルト》ーヴァージョン Bー Op. 50 (1982)
(ピアノ・リダクション版/初演) (横地ちひろ/編曲)

AFRO-CONCERTO for Percussion and Orchestra -Version B-, Op.50

(Piano Reduction/Premiere) (Arranged by Chihiro Yokochi) 共演: 小池ちとせ (ピアノ)

石井 眞木 (1936~2003) Maki ishii

2025年 11月6日 [木] 開演 19:00 (開場 18:30)

東京オペラシティリサイタルホール (京王新線 初台駅直結)

全席自由 一般 4,500円/学生 2,500円

【チケット取扱】

東京コンサーツ

・オンラインチケットサービス <https://confetti-web.com/TOKYO-CONCERTS>

・電話予約(カンフェティチケットセンター) TEL.050-3092-0051 (受付時間 平日10:00~17:00 オペレーター対応)

東京オペラシティチケットセンター TEL.03-5353-9999 (電話受付時間 10:00-18:00/月曜日定休)

【お問い合わせ】

東京コンサーツ TEL.03-3200-9755 (10:00~18:00/平日のみ)

主催: 吉原すみれ マネジメント: 東京コンサーツ





吉原 すみれ(パーカッション)

Sumire Yoshihara

東京生まれ。幼少の頃より、工藤昭二にマリンバのレッスンを受ける。高校入学時より、打楽器を小宅勇輔に師事。東京藝術大学に入学し、打楽器一般を有賀誠門、マリンバを高橋美智子に師事。1972年同大学院在学中にジュネーブ国際コンクール打楽器部門で優勝、各部門のグランプリであるブリ・アメリカン賞も受ける。以後、ヨーロッパ、日本を中心にソロ活動続ける。1977年ミュンヘン国際コンクールで1位なしの2位。1980年サントリー音楽賞受賞。アルバム「吉原すみれ・打楽器の世界1」において芸術祭優秀賞受賞。アンサンブル・ヴァン・ドリアン団員として1983年中島健蔵賞受賞。1991・97年ミュンヘン国際コンクール、1992年ジュネーブ国際コンクール審査員。2002年第20回中島健蔵音楽賞優秀賞を受賞。2004年第13回朝日現代音楽賞受賞。

アンサンブルタケミツ、メンバー。武蔵野音楽大学特任教授。相愛大学客員教授。



野尻 小矢佳(パーカッション)

Sayaka Nojiri

武蔵野音楽大学卒業、同大学奨学生。第23回日本打楽器協会新人グランプリ及び第1回岩城賞、第11回松方ホール音楽賞、他受賞多数。国内外で活動し、学校等へのアウトリーチもライフワークとしている。複数地域の連携事業や各種公演のプロデュース、コラボレーション等、音楽を通じた繋がりへの醸成にも力を入れている。心身への造詣を深めたアプローチでは、文化庁ユニバーサル公演や各種バリアフリー公演等に携わる。CD4枚をリリース、年間最優秀録音盤に選出。(一財)地域創造・公共ホール音楽活性化事業登録アーティスト、Smile Music主宰。KOROGI、REMO、Protection Racket、各エンドーサー。認定心理士。工藤昭二・美恵、吉原すみれ、石川武各氏に師事。



敦賀 朝香(パーカッション)

Asaka Tsuruga

千葉県市川市出身。9歳より打楽器を始める。千葉県立幕張総合高等学校卒業。第24回「長江杯」国際音楽コンクール打楽器大学の部第1位および理事長賞受賞。第40回打楽器新人演奏会にて最優秀賞受賞。第88回TIAA全日本クラシック音楽コンクール、奨励賞受賞。武蔵野音楽大学 ニュー・ストリーム・コンサート 45 に出演。選抜オーディションを経て、武蔵野音楽大学卒業演奏会に出演。令和6年度、福井直秋記念奨学金を授与。千葉交響楽団、東京交響楽団に客演。現在、武蔵野音楽大学院ヴィルトゥオーソコース2年次在学中。打楽器とティンパニを吉原すみれ、久保昌一、染谷太郎の各氏に師事。



横地 ちひろ(パーカッション/編曲)

Chihiro Yokochi

武蔵野音楽大学音楽学部ヴィルトゥオーソ学科を経て同大学院ヴィルトゥオーソコース修了(修士)。音楽学部新人演奏会及び修了新人演奏会出演。同大学大学院音楽研究科博士後期課程音楽専攻研究領域器楽(打楽器)修了(博士)。博士論文題目:『石井真木のマリンバ独奏とオーケストラのための《協奏曲M-2000》に関する分析的考察―「テトラトリートン音列」と東西の響きの融合に着目して―』。第24回日本クラシック音楽コンクール最高位、第17回日本Jr管打楽器コンクール金賞第1位、第35回日本打楽器協会主催打楽器新人演奏会最優秀賞、第17回南関東及び第19回北関東ピアノオーディションにてグランプリ、神奈川県知事賞、群馬県知事賞、第13回全日本ピアノオーディション銀賞受賞。2021年マリンバソロリサイタルを開催。ピアノを丸山徹篤、高坂朋聖、若津勢伊子、福井直昭、マリンバを島崎まきの、高橋美智子、吉原すみれ、ティンパニを奥田昌史、打楽器合奏を中谷孝哉、作曲を野崎勇喜夫、論文指導を薦田治子、稲田隆之、野原泰子の各氏に師事。武蔵野音楽大学附属音楽教室講師。



小池 ちとせ(ピアノ)

Chitose Koike

東京藝術大学卒業。同大学大学院を首席で修了。野村学芸財団奨学金を受ける。毎日新聞社主催 NHK 後援第23回全日本学生音楽コンクールで全国第1位受賞。ソロ、室内楽、オーケストラの各分野で意欲的な活動をしており、NHK-FM に度々出演した他、現代音楽の分野にも積極的に取り組み初演作品も多い。コラボレイティブピアニストとしての活動も多彩で、内外の著名なアーティストと数多く共演しており、オーケストラプレイヤーとしてもメジャーオーケストラから絶大な信頼を得ている。近年ではレクチャーコンサートなど、演奏法に関する講演活動にも力を入れている。共著に「ピアノの秘密」「オーケストラの秘密」。現在、武蔵野音楽大学教授。



山口 芽依(パーカッション)

Mei Yamaguchi

埼玉県立芸術総合高等学校音楽科卒業。武蔵野音楽大学ヴィルトゥオーソ学科卒業。第12回日本管弦打楽器ソロ・コンテスト打楽器高校の部グランプリ・クリスタルミュージック賞および全部門1位の文部科学大臣賞受賞。第34回日本管打楽器コンクールパーカッション部門第3位。第22回松方ホール音楽賞選考会打楽器部門音楽賞受賞。第14回現代音楽演奏コンクール「競奏XIV」第2位。大学4年次、東京国際音楽協会助成による山口芽依パーカッション&ヴィブラフォンソロリサイタルを開催。NHK-FM「リサイタル・パッショ」出演。打楽器を秋田円美、吉原すみれの各氏に師事。



山本 優香(パーカッション)

Yuka Yamamoto

10歳より打楽器、16歳よりマリンバを始める。武蔵野音楽大学卒業。同大学院ヴィルトゥオーソコース修了。在学中、管弦楽団ティンパニストに選出されドイツ演奏旅行に参加。これまでに打楽器・マリンバを市川みどり、吉原すみれの各氏に師事。現在はマリンバ・ハンドベル奏者として各地で演奏活動を行う一方、音楽教室を主宰し後進の指導にも力を注いでいる。また音楽を通じた社会貢献を目指し NPO 法人おんたいむを設立。代表理事として、ワークショップやコンサートなど、福祉・教育・地域をつなぐ音楽活動を幅広く展開している。



石井 真木(作曲)

Maki Ishii

舞踊家・石井漠の三男として東京に生まれる。伊福部昭他に作曲を学んだ後、1958年に渡独、ベルリン音楽大学作曲科に在籍、ブラッハー、ルーファーに学び、62年に帰国、東京を中心に活発な作曲活動を行う。1969年、西ベルリン市の「芸術家プログラム」の招きで再渡独。以来、ベルリンー東京を本拠に、作曲家、指揮者として精力的な活動を行う。また、'88年以来自作のバレエ「輝夜姫」を世界各地で90数回にわたり指揮、大成功をおさめた。さらに1999年にはオペラ「閉じられた舟」が国際的なスタッフ、キャストによりユトレヒト、ベルリンで5回にわたり初上演され好評を博した。2000年には日生劇場で日本初上演が行われた。代表作に〈響応〉、〈響層〉、〈遭遇Ⅰ・Ⅱ〉、〈モノプリズム〉など。「尾高賞」、「中島健蔵音楽賞・大賞」、「ドイツ批評家賞」、「京都音楽賞大賞」など多数受賞、1999年秋には「紫綬褒章」を受章している。2003年逝去。